

レジャー・レクリエーション見聞記

学習院女子大学特別専任教授 元NHK解説委員

平野 次郎氏

講師のご紹介と講演までの経緯

第35回大会実行委員（企画担当） 西野 仁

今大会の基調講演を、学習院女子大学特別専任教授、元NHK解説委員の平野次郎氏にお願いした。平野先生は、アメリカワシントン支局特派員、スイスジュネーブ支局特派員兼支局長、ロンドン支局長などを歴任した国際経験豊かなジャーナリストである。会員の多くのみなさんは、「海外ウイークリー」、「NHKニュースワイド」、「ワールドニュース」、「NHKニュースTODAY」などの番組でブラウン管を通して、お会いしているはずである。

先生に基調講演をお願いしたのは、もちろん、大会テーマ「ダウンサイジングの時代に即応したレジャー・レクリエーション研究」を大いに意識してのことである。大会テーマの底流には、何もかも右肩上がり成長拡大してきた社会はいつの間にかそのシステムが巨大化し過ぎ、環境変化に即応できなくなりつつあり、今後*Downsizing*（小型化）が重要なコンセプトになるという認識がある。こうした大きなうねりにも似た変化の中で、これからのレジャー・レクリエーション研究はどう対応していくべきかを論じ合おうという主旨で設定された。大きなテーマであるだけに基調講演をどうするかは議論百出であったが、レジャー・レクリエーションを世界共通の重要な生活文化と広く捉え、海外での実情を理解し、日本での特徴や問題点を鮮明にしようということで意見の一致をみた。具体的な講師の選定は、荒井啓子理事のおかげでスムーズに進み、平野次郎氏に決定した。10月に、学習院女子大学の研究室をお訪ねし、大会テーマや基調講演への期待などを直接お話した。後日、先生から演題を「レジャー・レクリエーション見聞記」としたいとの連絡をいただき、常任理事会で報告した。その後、学会大会号に掲載する講演要旨の執筆をお願いしたが、ジャーナリストとしての長年の習慣から講演の直前まで内容を吟味したいとのお返事をいただき、役目柄、西野がこの拙文をまとめた次第である。

平野 次郎（ひらの じろう）氏略歴

1940年、東京都生まれ。1963年に国際基督教大学（ICU）を卒業。アメリカコーネル大学大学院に留学。帰国後、1965年にNHKに入局、NHK横浜放送局、東京政治部、アメリカワシントン支局特派員を経て1980年4月より海外ウイークリーを幸田シャーマンとともに担当。1983年よりNHKニュースワイド外信キャスター。1984年より3年間スイスジュネーブ支局特派員兼支局長。帰国後ワールドニュース担当を経て1988年4月にスタートしたNHKニュースTODAYのアンカーマンに就任。1990年同番組終了後ロンドン支局長、帰国後NHK解説委員に就任。国際問題を専門に担当。解説委員退任後は、学習院女子大学特別専任教授他、シンポジウムコーディネーターとして活躍中。

主な著作 「英語はお経!？」TBSブリタニカ 1985年、「テレビニュース」主婦の友社 1989年、「ネコバンが一番～ジロさんの早口巷段～」角川書店、「1990年 ままならぬ人生だからこそ」1995年

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』